

平成29年度 消防長「政策宣言」達成状況

消防長 前川 和 弘

○ 平成29年度重要事業

事業名	防火対策の推進
目 標	<p>昨年は、近年減少傾向であった火災発生件数が20件と過去10年間の平均17件を上回り増加しました。また、年末の糸魚川市の火災を教訓に市内の消防関係団体が連携し、各種防火対策を推進するとともに、住宅用火災警報器の設置徹底、適切な維持管理の周知及び経年劣化した住宅用火災警報器の交換の推進を図ります。</p>
年度末達成状況	<p>平成29年は前年より火災件数が大幅に減少し各種防火対策の効果及び住民の皆様の防火意識の向上が減少につながったものと思います。</p> <p>また、住宅用火災警報器の設置については、消防職員及び関係団体等による街頭広報やパンフレット等を配布し設置の推進に努めました。</p>
自己評価	<p>火災の減少は、住民の皆さんや事業所の協力により達成できたものと思ひ、消防職員等はそのお手伝いをしました。</p> <p>住宅用火災警報器の未設置世帯への設置は、なかなか進まないのが現状であり、更なる努力が必要と感じております。</p> <p>引続き、関係団体等と連携し、市民の生命・財産を守っていきます。</p>

事業名	救急・救助体制の充実
目 標	<p>救急救命士の常時2名乗車を目指し、救急救命士の増員を図るとともに、救急隊員の養成及び隊員の知識、技能を高め、救急隊としてのチーム力の向上を図ります。</p> <p>また、多発する地震や自然災害等に対して消防隊及び救助隊員の技術の習得や災害対応力向上にも万全を期して取り組みます。</p>
年度末達成状況	<p>救急救命士の2名以上の乗車は、全出動件数の6割と徐々に数値が上がっています。また、2名の救命士を採用するとともに、現職員1名の派遣に向けた内部養成に努めました。</p> <p>消防隊、救助隊及び救急隊は、富山県消防学校及び県内各消防本部と共に各種教育訓練及び災害活動訓練等を実施し知識・技術の向上に努めました。</p>
自己評価	<p>救急救命士を計画的に採用し、搭乗率向上が地域住民の安心につながり、火災や災害に備えた継続的な訓練は職員及び消防関係者の知識・技術の向上につながったものと思います。</p>

事業名	消防力の維持・強化
-----	-----------

<p>目 標</p>	<p>消防力の維持・強化を図るため、職員の知識・技術の向上、消防施設・資機材の整備を進めるとともに、消防の広域連携体制の充実強化を図ります。</p> <p>また、消防団は昨年機能別消防団員を更に拡充し、学生の消防団加入促進に向けた取組を実施します。</p>
<p>年度末 達成状況</p>	<p>新湊消防署東部出張所の大規模改修及び庄西分団屯所移転新築の実施設計を終え来年度の改修及び新築に向けた準備が整いました。</p> <p>また、射水消防署配備の化学消防ポンプ自動車1台と消防団の消防ポンプ自動車（作道分団・黒河分団）2台を更新しました。</p> <p>消防団員の減少対策は機能別消防団員（学生消防団員）を7名新たに採用し、消防団員の確保に努めました。</p>
<p>自己評価</p>	<p>消防の施設や車両の整備及び更新は、将来に備え整備するため長期的な計画を確実に進めなければならないと考えています。</p> <p>また、消防力を維持・強化するためには、職員及び消防団員と共に訓練や研修会を重ねるなど、先見性や判断力を養い一層努力します。</p>